

29 とも の じょうあと 伴野城跡



指 定 県 史 跡 昭和40年 4 月30日
 所在地 野 沢
 所有者 大伴神社・佐久市



鎌倉時代以来伴野氏の館跡で、後の野沢城の主郭にあたる地域である。東西74m～85m、南北110mの長方形をしていて、周囲にほりをめぐらし、その内側にそって、西・北・東の三方に土居を残している。南の中央に入り口を置き、西南の高地に物見櫓やぐらを設けたと推定される。

その後さらに防衛のため前山城を築いて本拠をそこに移したが、天正11年（1583）依田信蕃のぶしげのために、野沢城・前山城とともに攻略され兵火で破壊されたが、旧館跡の主郭だけは、かろうじて旧形をとどめることができた。

江戸時代以降は官庫・陣屋・岩村田藩出張所など、おおむね官公地として存続した。

- 参考資料
1. 伴野氏館跡保存会 史料1集～8集
 2. 「南佐久郡古城址調査」 信濃教育会南佐久部会